

PDサロン マリーゴールド

vol.07
2020年10月

白井病院 パーキンソン病ニュースレター



マリーゴールドの花言葉は「逆境を乗り越えて生きる」「健康」です。

皆様こんにちは。

夜はコオロギやマツムシなどの秋の虫の音のコーラスが聞けるようになりましたね。夏が終わり、秋らしくなっています。日中はまだ暑い日もありますが朝晩は涼しくなり、これからは寒暖の差が大きくなっていきますので衣服などで調節したりして、体調に気をつけましょう。

今回は当院療養病棟主任看護師の森内よりお話をさせていただきます。

*パーキンソンサロン マリーゴールドにつきましては、コロナウイルス拡大の影響により開催日時未定となっております。

～パーキンソン病について一緒にお話しませんか？(^^)～

こんにちは♪ 東3病棟の森内です。

当病棟は療養病棟として、長期にわたる療養を必要とする患者様が多く、その中でも入院患者様の約3割の方がパーキンソン病です。

パーキンソン病は、運動症状・精神症状・自律神経症状が見られ全身病とも言われており、食事・睡眠・排泄・活動など生活のあらゆる場面でこれらの症状と付き合うこととなります。近年では様々な治療法の開発により、その平均寿命は日本人の平均寿命とほとんど変わりません。言い換えれば病気とともに生きる人生が長くなっています。

『病気とともに生きる』ということは、決して悲観的な意味を表している訳ではありません。予防策、対応策を知っていれば慌てることなく、やるべきことが行えるのではないのでしょうか。知らないことは不安を感じますが、知っていることで少しは安心できるのではないかと思います。これからの長い道のり、しっかりと病気の特徴を理解することで、少しでも安心して生活することが大切だと思います。

私たち病棟スタッフは他部門の専門職種と協力しながら、チームで日々患者様のケアを行っています。また、勉強会やカンファレンスを積極的に行い、病気の理解を深め、患者様の力に少しでもなれるように努めています。ぜひこれからはお一人で悩まず、各専門分野の医療スタッフに相談してみてください。

最後に、私が入院している患者様と接する中で思うことですが、皆様様々な症状を抱えながら、自分なりのやり方、様子を見方を工夫しておられます。パーキンソン病をきちんと理解して、うまく付き合っているらっしゃるなあ、と感じることが多くあります。

運動症状と同時に精神症状がみられるとご本人様も家族様も大変な思いをされていることとあります。そんな時は誰かに話すことで気持ちが楽になることがあります。

ぜひ一緒にお話しませんか？(^^)

近い将来、パーキンソンサロン マリーゴールドでお会いできることを楽しみにしています。



看護師 森内 友子 (写真右)
(もりうち ともこ)

趣味：ナンプレ
好きな言葉：日進月歩

看護師 不動 麻美 (写真左)
(ふどう あさみ)

趣味：読書 (漫画)
好きな言葉：温故知新



医療法人 白卯会 〒590-0503

白井病院

大阪府泉南市新家2776番地

☎072-482-2011

HP www.shiraihp.or.jp

ホームページ
QRコード

